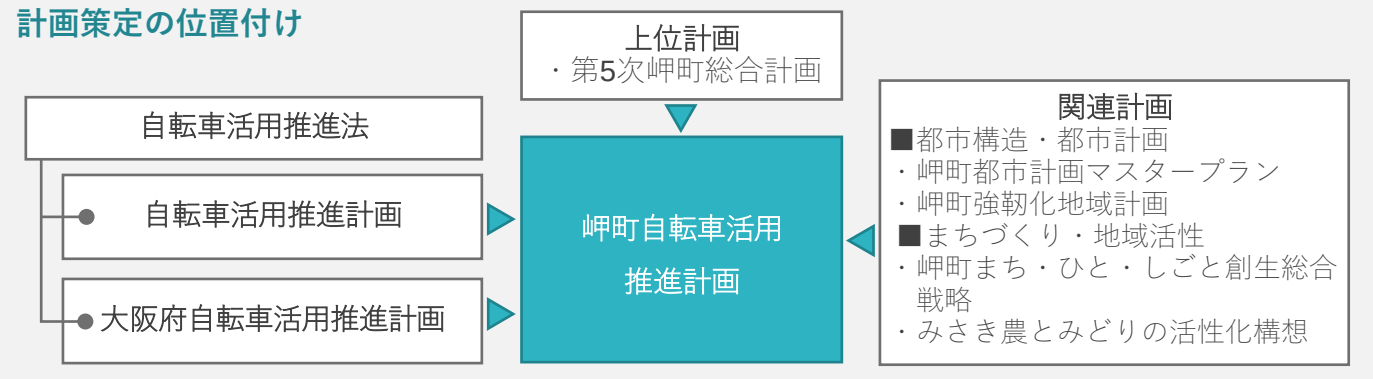


岬町自転車活用推進計画 概要版

計画策定の目的

自転車は身近な移動手段として、通勤・通学や買い物、子どもの送り迎え等、様々な場面で利用されてきました。本町においても、環境にやさしく、健康づくりに繋がる自転車の更なる利用促進に向けた情報発信や安全安心に自転車を利用できる環境づくりを進める必要があります。近年では、全国的にサイクルツーリズムの取組が盛んになっており、岬町の周辺地域でも様々な取組が展開され、岬町はますます重要な拠点となっており、既存のネットワークを繋ぎつつ、広域サイクリングコースの重要拠点としての役割を果たしていくことが必要です。これら岬町が抱える課題を踏まえ、更なる地域づくりの進展と観光振興に向け、安全で快適な自転車利用の推進を進めるため、自転車活用推進に関する目標や目標達成のために実施すべき施策・措置等を取りまとめた「岬町自転車活用推進計画」を策定します。

計画策定の位置付け



課題 1

広域サイクリングコースにおける重要拠点としての機能充実

- ・岬町は、ナショナルルート（太平洋岸自転車道）をはじめ周辺地域のサイクリングコースの起終点部分に位置しており広域サイクルツーリズムの重要な拠点である
- ・自転車における淡路島（兵庫県）側との交通手段は旅客船の運航に限られており、運航の継続に向けた取組は必須
- ・既存のサイクリングマップや町内の資源を活用し、自転車での町内観光を促す取組が求められる

課題 2

自転車利用を促す情報発信

- ・自転車利用は環境負荷が小さいことや、健康づくりに繋がるといわれており、通勤等で自転車を利用することで、特に、普段運動を行わない方にとっては、運動機会の確保を行うことができ、更に休日にレンタサイクル等を利用し、町内を観光することで、運動機会の確保に加え、気分転換になるなど精神的健康の維持等にもつながるため、自転車自体の利用促進等の普及啓発が求められる

課題 3

安全安心な自転車走行の実現

- ・自動車交通量が多く自転車事故の発生が集中している府道 和歌山阪南線は、自転車通学ルートとして利用されており、安全上の課題が想定される
- ・既成市街地では幅員4m未満の道路が網目状に入り組んでおり、道路空間の整備だけでなく、既存の道路空間での安全安心な自転車走行を促す取組が求められる

基本理念

地域づくりと観光振興に向けた、安全で快適な自転車利用の推進



目標 1

サイクルツーリズムの推進による観光振興

目標 2

自転車利用の促進

目標 3

誰もが安心・安全に自転車を利用できる地域の実現

施策 1

広域圏でのサイクルツーリズム振興に向けた周辺市町村や関係府県との連携推進

- （取組）
- ◎大阪府や泉州エリア、淡路島、和歌山市、和歌山県、国と連携したサイクルツーリズム推進



施策 2

町内のサイクルツーリズム振興

- （取組）
- ◎新たなレンタサイクル拠点の整備検討
 - ◎サイクリイベントの実施検討



施策 3

自転車通勤の促進

- （取組）
- ◎通勤時の自転車利用の推奨



施策 4

自転車を活用した健康づくりの推進

- （取組）
- ◎健康増進の周知・啓発



施策 5

自転車通行空間の計画的な整備推進

- （取組）◎自転車通行空間の整備 ◎自転車マップのリニューアル

施策 6

地域のニーズに応じた駐輪場等の適正な管理運営

- （取組）◎駐輪場内の自転車の整頓
◎観光案内所での自転車修理道具等の貸し出し

施策 7

自転車の安全利用の促進

- （取組）◎交通安全意識向上を図る交通啓発
◎自転車損害賠償責任保険の加入促進

施策 8

学校における交通安全教育の推進

- （取組）◎交通安全教室の開催 ◎教職員へ向けた講習会実施
◎通学路周辺の安全点検の実施

施策 9

災害時における自転車活用の推進

- （取組）◎災害時の自転車利用

広域サイクルツーリズム推進にあたっての考え方

岬町では、広域サイクルツーリズムの取組みを一層進め、周辺の様々なルートと接続し、新たな人の流れをつくっていきたいと考えています。

■ 岬町のポジショニングと周辺地域のサイクルツーリズムの動き

岬町は、大阪府の泉州サイクルルートの起終点部分に位置しており、和歌山県下のサイクリングロード、国が進めるナショナルルート（太平洋岸自転車道）の西端である和歌山市に隣接し、深日・洲本航路を通じて淡路島と大阪湾沿いを巡る大阪湾一周ルートがサイクリストの間で注目されています。また、淡路島と和歌山県に隣接する四国においてもサイクルツーリズムへの関心が高まっています。

■ 今後の取組

大阪府や泉州エリアの市町とは、引き続き泉州サイクルルートでの連携を進めていきます。淡路島（兵庫県）とは、引き続き深日・洲本航路の恒常的運航に向けた取組を推進していくとともに、四国への波及も見据えながら、一体的なサイクルツーリズム振興を進めていきます。さらに、隣接している和歌山市や和歌山県のサイクルロードと連携を行い、泉州サイクルルートや淡路島までの切れ目のないサイクルルートの実現に向けた取組を進め、和歌山市まで伸びているナショナルルートについても、より広域でのサイクルツーリズムの展開が期待されるため、ナショナルルートの延伸について国や関係行政機関と協議・検討を進めていきます。



自転車ネットワーク路線の選定

「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」（国土交通省）において定められている、自転車ネットワーク路線の選定指標に基づき、本計画における自転車ネットワーク路線の選定要件を設定し、各選定要件によって抽出される路線を組み合わせ、自転車ネットワークを選定します。

主要 路線

周辺市町村や関係府県との連携により広域的な自転車ネットワークの形成の観点で整備が必要な路線かつ町内の自転車利用及びサイクリストの利用が多く想定される路線

副路線

町内の自転車利用環境向上の観点で整備が必要な路線

検討路線

主要路線や副路線に接続している府道及び町道ではない区間

■ 整備の進め方

自転車ネットワーク路線の実現には、中長期間にわたる整備スケジュールが想定されることから、優先順位をつけて順次整備を進めていきます。サイクリストをはじめ利用者の多い主要地方道岬加太港線や中学生をはじめとした自転車通学者が多いと想定される府道和歌山阪南線などの主要路線について優先的に整備を進めていくよう大阪府へ働きかけていくとともに、副路線についても同様に利用状況等を考慮しながら、順次整備を進めていきます。

